

マタギ文化と地域資源を活かし、阿仁の魅力を発信

あきたで生きる～秋田の地域資源を活用し、秋田で暮らし、秋田を活かす取組～



事業者名：了月舎農園（りょうげつしゃのうえん）
（北秋田市）
代表者 木村 望（31 歳）



了月舎農園

経営概況

経営形態 | 農業、農家民宿経営、農産物加工販売
キッチンカー移動販売等

経営面積 | 30a

主な作物 | ねぎ、さつまいも

労働力 | 2名（本人、妻）

販売先 | 産地直売所、JA、飲食店、ふるさと納税

千葉県松戸市出身の木村さんは、平成 28 年 3 月、北秋田市阿仁小様集落に夫婦で移住し、農業を基盤に農産物加工販売、農家民宿、キッチンカーでの移動販売、アウトドアガイドなど多彩な事業を展開しています。地域資源を活用した商品づくりや観光体験の提供を通じて、阿仁の魅力を県内外へ発信するとともに、マタギ文化の継承や関係人口の創出にも取り組んでいます。

きっかけ

木村さんは、高校 2 年生の時に発生した東日本大震災をきっかけに、「自給できる場所で暮らしたい」と考えるようになりました。東京農業大学網走キャンパス在学中、エゾシカによる農林業被害の実態を知り狩猟免許を取得。その後、伝統的な狩猟文化であるマタギに関心を持ち、大学 2 年の時、1 年間休学して阿仁地区で暮らす機会を得ました。地域での生活を通じて、豊かな自然や地域住民とのつながりに魅力を感じ、卒業後は就職せず、ご夫婦で阿仁小様集落へ移住し、令和 5 年に「了月舎農園」を立ち上げました。



● 移住した阿仁小様集落。中央が住居兼農家民宿の「了月舎農園」

取組

現在は、畑でのさつまいもやねぎの栽培と並行して、農産物を加工した菓子づくりに力を入れています。令和 4 年に菓子製造許可を取得しており、自家

栽培のさつまいもを使用し、自ら開発したスイートポテト「阿仁人芋（アニートポテト）」やビスコッティ、プリンなど、地域の特色を活かした商品の製造販売を心掛けています。



● 自家生産したさつまいもを使った商品の数々

また、令和 6 年には購入した築 120 年の古民家（自宅）で県や北秋田市の補助金を活用して農家民宿を開業しました。宿泊客には農作業体験のほか、カヤックやスノーシューハイク、旧鉱山周辺の散策など、阿仁地域ならではの自然体験を提供しています。海外からの利用者も多く、語学力に長けた奥様の中国語や英語での接客も好評で、満足していただいています。

さらに、阿仁猟友会の活動にも参加し、鳥獣被害対策や地域の狩猟文化継承にも尽力しており、阿仁地区に暮らす移住者や若手世代とのネットワークを広げながら、地域の新たな魅力づくりに取り組んでいます。



● DIY 等で改修し、開業した農家民宿

これから

木村さんは、「まずは安定した経営基盤をつくりたい」と話します。今後は、製造した菓子等をキッチンカーや EC サイトを活用して販売強化をしていく考えです。また、冬山ガイドやバックカントリースキーガイドの資格取得にも挑戦し、農業、農泊、ガイド事業を組み合わせた通年型の経営モデルの構築を目指しています。さらに、マタギ文化や自然体験を活かした交流事業を通じて、阿仁地区の魅力をより多くの人に伝え、地域活性化につなげていきたいと話していました。



● 活躍が期待される自作したキッチンカー



東北農政局秋田拠点

（●写真：了月舎農園提供）